

古文書から見えた

私部城

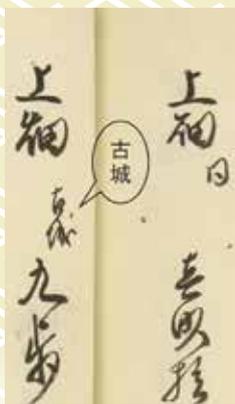
～語り継がれる歴史～

最終回

問い合わせ
社会教育課文化財係(TEL 893-8111)



「河州交野郡私部村之内地改帳」の「古城」の記述



続く古文書調査

この1年、私部城と安見氏について、いろいろな古文書やそこから読み取れる歴史・伝承を紹介してきました。ここで紹介したことは、最近の調査で新しく判明したものも多くあり、交野の歴史ファンでも知らないことがあったのではないのでしょうか。

こうした新発見は、全国で行われている古文書調査が積み重ねられている成果によるものです。最終回では、この古文書調査について紹介します。

近世古文書合宿

最近行われた市の大きな調査は、昨年に協定を結んだ大阪大学大学院文学研究科日本史研究室の村田路人教授指導のもとに行われた「近世古文書合宿」です。この調査では、私部のあるお宅で保管されていた古文書を対象に、今後調査がしやすいよう目録を作り、データ化していくものです。

① 番号付け

番号を書いた附せんを古文書に挟み、古文書二点ごとに番号を与えます。番号は、整理前の古文書の配列に従って付けます。

② 目録用カード作成

古文書二点ごとに、表題・内容・作成年月日・差出人名・宛名・番号等をカードに記入します。

③ 修復

古文書によっては、紙の継ぎ目がはがれていたりします。その場合は筆でのり付けします。細心の注意が必要です。

④ ラベル貼り

①の附せんを取り、番号を書いたラベルを古文書に貼ります。ラベルは和紙、糊も化学物質を含まないものを使用します。

⑤ 写真撮影

古文書を全点撮影します。古文書の大きさ、形態はさまざまなので、うまく撮影するには工夫が必要です。

以上の情報をまとめて目録の表を作ります。今回の調査では約340点の古文書を調査し、新たに私部村の絵図などが見つかりました。



写真撮影



修復



目録用カード作成



番号付け

お家に眠る古文書

今回の調査で承応2年(1653)の土地台帳に「古城」の地名が見られ、私部城が早くから古城と呼ばれていたことが分かりました。古文書は博物館や専門機関にあるイメージですが、古くから続く家も多い交野には、今回の調査のように自宅に保管されているものがまだまだあると思っています。家や倉の片付けの際、それらしい紙や文書を見つけたときは発見かもしれません。文化財係までご連絡ください。

コラム

